

# 生活科学習指導案

日時 平成28年2月17日(水) 2校時

児童 2年生

授業者

場所

## 1 単元名 「『マイストーリー』をつくろう」

## 2 単元について

### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説生活編の中の内容(9)を扱った単元で、次の3つのねらいがある。1つ目は、自分の成長を振り返り、自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなど、自分の成長を実感することである。2つ目は、自分の成長の背景には自分を支えてくれた様々な人とのかかわりがあったことに気付き、感謝の気持ちをもつことである。3つ目は、自分の成長と人々の繋がりを感じることを通して、「自分にもできるんだ」「もっとやりたいな」という自信や意欲をもって生活できるようにすることである。

### (2) 児童観

# 省略

## 3 単元目標

自分の成長について情報を集め、まとめていく活動を通して、自分の成長について振り返り、その過程で様々な人とのかかわりや支えがあることに気付き、感謝しながら、これからの自分の生活に自信や意欲をもつことができる。

## 4 評価規準及び道徳的学び

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き	道徳的学び
ア 自分自身の成長に関心をもち、自分の成長を振り返ろうとしている。	ア 過去の自分自身や出来事を振り返ることで、現在の自分と比較して考え、自分なりの方法でまとめている。	ア 自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気付いている。	2-(4)「感謝」 自分の成長はたくさんの人々に支えられていることを実感する。
イ 成長を振り返るために必要な手がかりを見つけたり、集めたりしようとする。	イ 自分の成長を支えてくれた人々とのかかわりについて考え、感謝の気持ちを表している。	イ 自分の成長を支えてくれた人々の存在や、優しい気持ち、他者への思いやり、我慢する心など、自分の内面的な成長に気付いている。	4-(3)「家庭愛」 自分の成長には家族の支えが大き
ウ 自分自身の成長を支えてくれた人々に感謝の気持ちをもっている。		ウ 自分自身のよさがわかり、これからも成長できることに気付いている。	くかかっていることを実感する。

単  
元  
の  
序  
盤

**I 状況的興味の喚起・維持を促すために**

**対象との出会いの工夫とゴール像の意識化・明確化**

- 2年2組ミュージアムを開き、これまでの自分たちの生活を振り返る。  
教室内に2年分の生活科学習の様子がわかる写真を掲示し、見て回る時間を設定する。また、テレビで2年間の学習や行事の画像を提示し、学級全体で振り返ることを通して、自分たちの成長に関心をもつことができるようにする。
- 『マイストーリー』の見本を提示する。  
ゴールの姿をイメージすることができるように、『マイストーリー』の見本を提示する。見本は様々な方法でまとめたものを提示し、自分が表したい方法を選ぶことができるようにする。また、『マイストーリー』はいきなり作ることができないということから、イメージマップや『『マイストーリー』のもと』を提示し、これらの情報を書き溜めていく必要があることを教師との対話から感じることができるようにする。

**① 感覚的な気づきを獲得しながら、学習対象と向き合う子ども**

単  
元  
の  
中  
盤

**II 個人的興味の出現を促すために**

**繰り返し対象にかかわる場の設定**

- 集めた情報をもとにまとめていく時間を繰り返し設定し、自分の成長を振り返ることを通して、過去の自分と比較したり、自分と様々な人とのかかわりについて考えたりすることができるようにする。
  - ・ 自分の成長について、イメージマップを広げる。
  - ・ 自分の成長について、「『マイストーリー』のもと」にまとめる。
  - ・ まとめた内容について、友達と交流したり、全体で交流したりする。
- 『マイストーリー』を作る時間を設定する。
  - ・ イメージマップや「『マイストーリー』のもと」の情報を整理して、『マイストーリー』を作る。

**II-(1) 内的活動の高まりを促すための工夫**

**「見付ける」「比べる」「たどる」などの多様な活動を生み出す教師のかかわり**

- 子どもの思いを丁寧に見取り、声かけ、問い返しなどを行う。
- それぞれの活動の中で、子どもたち同士をつなぐ意図的な声かけを行う。
- 友達と交流し合う時間、グループで交流しながら活動する時間を設定する。
- それぞれの活動について、全体で交流する場面を設定する。
- 子どものイメージマップや表現物を適宜提示しながら交流する。
- 友達の活動と関連させながら交流場面を進め、子どもたちの気づきや視点が広がるようにする。
- 全体交流の内容を、構造的に板書する。

**② 思考的・関連的な気づきを積み重ねていく子ども**

単  
元  
の  
終  
盤

**III 発達した個人的興味の出現を促すために**

**学んだことを生かす場の設定**

- 家族や友達に、自分の成長について伝える場を設定する。  
単元の中盤で、自分とかかわりのある人や、自分の成長を支えてくれた人がたくさんいることに気付いていく姿が想定される。そこで、『マイストーリー』が完成した段階で、完成したものを見せたい人を問うことで、「自分とかかわってくれた人に伝えたい」という思いを明確にできるようにする。そして、授業の中で友達に見せる場面、期間内に保護者や学校外の人に見せる時間を設定し、自分たちの活動や成長について伝えることができるようにする。

**III-(1) 内的活動の高まりを促すための工夫**

**さらなる思考を促す教師のかかわり**

- 自分とかかわってくれた人にはどんな人がいて、その人がいなかったらどうだったかという視点で話を進めていくことで、相手意識や自分たちの思いがより明確になるようにする。
- 友達と『マイストーリー』を見せ合う中で、子どもたち同士をつなぐ意図的な声かけを行う。

**III-(2) 内的活動の高まりを促すための工夫**

**単元における自分たちの活動を振り返る場の設定**

- 完成した『マイストーリー』を読み合う。
- 保護者からの手紙を渡す。
- 振り返りカードに単元全体の振り返りを書く。

**③ 学びの価値を自覚し、自分の成長を実感できる子ども**

6 単元の指導計画

時	主な学習活動	教師の働きかけ	評価
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2年2組ミュージアムで、2年間の生活科の学習、学校生活を振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・できることが増えたな。</li> <li>・背が伸びたな。</li> <li>・あの時、こんなことしたな。</li> <li>・いろんな思い出があるな。</li> </ul> </li> <li>○これからの学習活動の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・僕は絵巻物に思い出をまとめていきたいな。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□2年間の生活科学習の様子が見える掲示物を見て回ったり、写真で2年間の学校生活を振り返ったりする「2年2組ミュージアム」を開く。</li> <li>□『マイストーリー』の見本を示し、完成させるためには、イメージマップと「『マイストーリー』のもと」を集めていく必要があることを伝える。</li> </ul>	<p>関ア</p> <p>思ア</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージマップで自分についての情報をたくさん広げていこう。</li> <li>・「『マイストーリー』のもと」をたくさん集めていこう。</li> <li>・イメージマップは、こんなふうに書いていたらいいのかな？</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>【マイストーリーの見本】</b> 絵本、じゃばら折り絵本、ファイル絵本、紙芝居、絵巻物</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>□書き方や書く視点について交流しながらイメージマップを書いてみる時間を設定する。</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の成長について、イメージマップを広げる。</li> <li>○自分の成長について、「『マイストーリー』のもと」にまとめる。</li> <li>○イメージマップや「『マイストーリー』のもと」の内容を友達と交流したり、全体で交流したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□写真や前時の児童の気付きを取り上げて、活動の見通しをもつことができるようにする。</li> <li>□個の活動を見取り、適宜声かけや問い返し、子ども同士をつなぐ声かけを行う。</li> <li>□イメージマップや『マイストーリー』のもとについて、友達と交流し合う時間を設定し、友達の視点や内容と比べることができるようにする。</li> <li>□児童のイメージマップや「『マイストーリー』のもと」を適宜提示しながら、それぞれの活動について、全体で交流する。その際、友達の活動と関連させながら交流を進め、自分の活動の視点や幅が広がっていくようにする。</li> <li>□子どもの発言を内容ごとに分けて、構造的に板書していく。</li> </ul>	<p>関イ</p> <p>思ア</p> <p>気ア</p> <p>気イ</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなことがあったな。</li> <li>・1年生の時の写真や作品を見ると、できるようになったことがたくさんあるな。</li> <li>・覚えていることも多いけれど、覚えていないこともあるな。</li> </ul>		
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校に入学する前のことも調べてみよう。</li> <li>・赤ちゃんの頃のことも調べてみよう。</li> <li>・おうちの人に聞いてみよう。</li> </ul>		
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前使っていたものから、こんなことがわかったよ。</li> <li>・昔の写真を見たら、こんな発見があったよ。</li> <li>・おうちの人にインタビューしたら、今まで知らなかったことがわかったよ。</li> <li>・おうちの人だけでなく、いろんな人にかかわってもらっていたんだね。</li> </ul>		
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イメージマップがどんどん広がってきたぞ。</li> <li>・『マイストーリー』には、どんなことをどんなふうに書いていこうかな。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【子どもたちに伝えたい視点の例】</b> 使っていたもの、かかわってくれた人、成長させてくれた出来事、気持ち</p> </div>	
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集めた情報をもとに、『マイストーリー』を作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□個の活動を見取り、適宜声かけや問い返し、子ども同士をつなぐ声かけを行う。</li> <li>□友達と交流しながら活動できるように、グループの形で活動を設定する。</li> </ul>	<p>思ア</p> <p>気イ</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんな順番でまとめていこう。</li> <li>・人とかかわりや気持ちについてもまとめられるようにしましょう。</li> <li>・絵や写真を貼ってまとめていこう。</li> </ul>		
10			
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>○完成した『マイストーリー』を友達と読み合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の『マイストーリー』に自分のことが書いてあったよ。</li> <li>・友達に自分の気持ちを伝えながら見せたよ。</li> </ul> </li> <li>○次時まで完成した『マイストーリー』を誰に見せるのか見通しをもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□完成したものを見せたい人を問い、「自分とかかわってくれた人に伝えたい」という思いを明確にできるようにする。</li> <li>□『マイストーリー』を友達と読み合う場面を設定する。</li> <li>□持ち帰り、保護者や学校外の人に見せる期間を設定する。</li> </ul>	<p>関ウ</p> <p>思イ</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者からの手紙を読む。</li> <li>○振り返りカードに、単元全体の振り返りを書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな人の支えがあって成長できているんだ。</li> <li>・インタビューしたこと以外にも、こんなことを思ってくれていたんだ。</li> <li>・これからもいろんなことに挑戦していきたいな。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□保護者から事前に書いてもらった手紙を渡し、家族の支えについて実感が深まるようにする。</li> <li>□単元全体を振り返るという視点で振り返りカードを書くように伝える。</li> </ul>	<p>関ウ</p> <p>気ウ</p>

7 本時について（4/1 2 時間目）

(1) 研究とのかかわり

本時においては、主に研究の視点ⅡとⅡ-（1）にかかわって、手立てを講じていくことになる。

手立てⅡでは、前時に引き続き、イメージマップと『マイストーリー』のもとにまとめていくことで自分の成長を振り返る時間を設定する。また、個での活動の後に全体交流の場を設定し、他者とのかかわりを通して自分の考えを深め、気付きの質を高めていくことができるようにする。

手立てⅡ-（1）では、子どもの活動を見取り、声かけや問い返しを行ったり、子ども同士をつなぐ視点で声かけを行うなどの個別のかかわりを通して、深く考えたり、新たな気付きを獲得しながら活動する姿を目指したい。活動は個で行うが、自然と友達と交流しながら活動することができるように、グループの形で行うこととする。また、全体交流でのかかわりとして、子どもたちの情報を関連付けながら進めたり、発言の内容ごとに分けて板書したりすることによって、友達とのかかわりを通して自分の活動を見つめ直し、気付きを積み重ねていくことができるようにしていく。

(2) 本時の目標

自分の成長について振り返り、イメージマップや『マイストーリー』のもとにまとめていく活動を通して、成長を振り返る視点を広げ、次の活動の見通しをもつことができる。

(3) 本時の展開

○児童の主な学習活動	□教師の働きかけ・留意点 ☑自己肯定感	評価 個に応じた指導 (△発展的▲補充的)
<p>○本時の活動の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>写真やおうちの人へのインタビューで小さい頃の様子がわかりそうだって言っていたね。</li> <li>『マイストーリー』の中に、人がたくさん出てくることがわかったよね。</li> <li>今日は～についてまとめていこう。</li> </ul>	<p>□前時に共有した視点について振り返り、今回も『マイストーリー』を作るために情報を集めていくことを確認する。</p>	
<p>イメージマップや『マイストーリー』のもとをふやしていこう。</p>		
<p>○自分の成長について、イメージマップや『マイストーリー』のもとにまとめていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1年生の時の写真を見て、できるようになったことをまとめていこう。</li> <li>1年生の頃の作品を見て振り返ろうかな。</li> <li>家で調べてきたことをまとめていくよ。</li> <li>幼稚園のときのことを思い出して書くよ。</li> <li>小さい頃の写真を持って来たから、それを手がかりに書いていくよ。</li> <li>小さいときに使ったものを持って来たから、それについてイメージマップを広げていこう。</li> <li>人にこだわってイメージマップを広げていこう。</li> </ul>	<p>□それぞれがイメージマップ、「『マイストーリー』のもと」をまとめていく時間を設定する。Ⅱ</p> <p>□グループの形で、友達と交流しながら活動できるようにする。Ⅱ-（1）</p> <p>□個の活動を見取り、適宜声かけ、問い返し、子ども同士をつなぐ声かけを行うことで、気付きを引き出すことができるようにする。Ⅱ-（1）</p>	<p>△過去を振り返るための手がかりとして様々な情報を持ってきている児童を把握し、全体交流で視点を広げる際に発言させるようにする。</p> <p>▲イメージマップを広げていくことが難しい児童については、集めた情報や掲示してある写真について問いかけたり、「成長」という視点で対話していくことで、表現したいことを見付けることができるようにする。</p>
<p>○イメージマップや『マイストーリー』のもとに整理したことについて、全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イメージマップに、人がたくさん増えてきたよ。</li> <li>小学校に入学する前のことを書いたよ。</li> <li>赤ちゃんの頃のことについて調べてきたよ。</li> <li>小さいときのことを思い出せるものを持ってきている人がいたよ。</li> <li>他にも自分の成長を感じる手がかりになりそうなものはあるかな。</li> <li>写真があると、その時の様子がよくわかるんだね。</li> <li>服やおもちゃからも、その時のエピソードがわかるかもね。</li> <li>こういうものも成長の手がかりになるんだね。自分の家にもあるかな。</li> </ul>	<p>□全体交流の場を設定し、どのようにまとめていったのかを問う。Ⅱ</p> <p>□友達の活動と関連させながら交流場面を進め、子どもたちの気付きや視点が広がるようにする。Ⅱ-（1）</p> <p>□発言の内容ごとに分けて板書していく。Ⅱ-（1）</p> <p>☑交流によって新たな視点が明確になったことを価値付ける。</p> <p>□振り返りカードを書く場面を設定する。</p> <p>□交流で明らかになった視点を生かして次時の見通しをもつことができるように声をかける。</p>	<p>【関イ・思ア～ 観察・発言・記述】</p>
<p>○今回の活動を振り返り、次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>次は、こんなことをまとめたいな。</li> <li>次の時間までに、こんな情報を集めてこよう。</li> </ul>		

本単元における気付きの質の高まりのルーブリック

自分自身への気付き			↑ 気 付 き の 質 の 高 ま り
自 覚 的	関 連 付 け ら れ た 気 付 き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分にはこんな夢があるから、これからこんなふうに頑張っていきたいな。</li> <li>・これからもいろんなことに挑戦して、できることを増やしていきたいな。</li> <li>・できることが増えただけではなくて、気持ちも強くなったし、いろんなことを頑張ってきたな。</li> <li>・いろんな人に支えられて、今の自分がいるんだな。</li> <li>・インタビューしたこと以外にも、こんなことを思ってくれていたんだな。うれしいな。</li> <li>・～してくれた友達がいるから、今自分は～なんだな。</li> <li>・いろんなものやことから、自分の成長を感じることができたよ。など</li> </ul>	
	思 考 を 伴 う も の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろんな出来事をまとめて、自分だけの『マイストーリー』ができたぞ。</li> <li>・自分の『マイストーリー』はこんなふうにまとめていきたいな。</li> <li>・友達はこんなことを考えているんだ。自分はどうか。</li> <li>・友達は〇〇から自分のことを振り返っているんだね。自分の家でも探してみようかな。</li> <li>・おうちの人だけでなく、いろんな人にかかわってもらっていたんだね。</li> <li>・おうちの人にインタビューしたら、こんなことがわかったよ。</li> <li>・前使っていたものから、こんなことがわかったよ。</li> <li>・写真を見ると、その時の様子がわかるよ。</li> <li>・写真を見ると、今の自分との違いがわかるよ。</li> <li>・おうちの人に聞いてみよう。</li> <li>・赤ちゃんの頃のことも知りたいけれど、自分では覚えていないな。</li> <li>・入学前のことは、覚えていることもあるけれど、覚えていないことも多いな。</li> <li>・小学校に入学する前のことも思い出してみよう。</li> <li>・1年生の時、こんなことを考えながら頑張って、～できるようになったな。</li> <li>・1年生の時の写真や作品を見ると、できるようになったことがたくさんあるな。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	
感 覚 的	単 体 の 気 付 き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年間で、できることが増えたよね。</li> <li>・前より背が伸びたよ。</li> <li>・友達ができた時のことを思い出したよ。</li> <li>・転校した友達のことを思い出したよ。</li> <li>・1年生の時と今では少し顔が違うね。</li> <li>・いろんな思い出があるね。懐かしいな。</li> <li>・あの時、こんな気持ちになったな。</li> <li>・あの時、楽しかったな。</li> <li>・あの時、こんなことがあったな。</li> </ul> <p style="text-align: right;">など</p>	
	無自覚な気付き		